

第2回 牧田川流域における流域治水勉強会（令和8年8月31日）

○牧田川流域の3県9市町と国交省で構成する「第2回 牧田川流域における流域治水勉強会」を開催し、岐阜大学の原田守啓 教授より「流域治水を考えるためのヒント」のご講演を頂いた。

○また、牧田川の流域治水対策の検討として「牧田川の特定都市河川の指定」に関する意見交換を行った。

【第2回 勉強会の概要】

日時：令和8年8月31日（月） 15:00～17:30

場所：大垣市スィートピアセンター6階（WEB併用）

出席：勉強会の構成組織



＜岐阜大学 原田守啓 教授 講演「流域治水を考えるためのヒント」＞

- 国土や水災害リスクの変化を踏まえた流域治水の意義、「あまみず社会」の実践、地域を豊かにするグリーンインフラ等の取り組みに関する研究紹介をいただき、流域治水の実践に向けた目的の理解促進や取組への意欲向上に繋がった。

1. この100年の国土の変化、水災害リスクの変動から“流域治水”の意味をとらえなおす
2. 流域の特性から流域治水施策を考える
3. 取り組みを地域に広げる地域・個人で取り組む“あまみず社会”
4. 防災減災のためだけでなく日々のまちのくらしが豊かになる取り組みとして考える
5. 水災害とつきあってきた地域の減災の知恵（Local wisdom）を活かす

＜「牧田川の特定都市河川の指定」に関する意見交換＞

- 特定都市河川浸水被害対策法に基づく牧田川流域の特定都市河川指定について、流域自治体からの質問や意見を踏まえて、その効果や課題の意見交換を行った。
- また、本勉強会での検討・意見の経過を踏まえ、事務局より国土交通本省ウェブサイトに牧田川流域を“特定都市河川の指定を検討している河川”として掲載することの提案を行った※。

※勉強会では提案に対して意見無しであり、改めて後日意見照会も行い了承を得た。

牧田川流域における流域治水勉強会

【勉強会の設置趣旨】

気候変動による水災害の激甚化・頻発化が懸念される中、牧田川流域では令和6年8月洪水による広域的な浸水被害が発生するなど近年洪水が頻発しており、水害リスクの軽減に向けた流域治水を一層推進する必要がある。

このため、牧田川流域全体で取り組むべき具体的な流域治水対策を検討することを目的とし、牧田川流域の3県9市町と国交省で構成する「牧田川流域における流域治水勉強会」を設立。

【勉強会の構成 3県9市町・国交省】

流域市町：大垣市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、池田町、いなべ市、米原市、

県：岐阜県、三重県、滋賀県、岐阜県大垣土木事務所、岐阜県揖斐土木事務所

国（事務局）：国土交通省木曽川上流河川事務所



令和6年8月洪水（台風第10号）